

製品名: TdT ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86677

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:59 kDa; Observed MW:59 kDa

抗原情報

遺伝子名	TdT
別名	TDT
遺伝子ID	1791
SwissProt ID	P04053
免疫原	ヒト TdT の合成ペプチド

背景

この遺伝子は DNA ポリメラーゼ X ファミリーに属し、オリゴヌクレオチドプライマーの 3'-ヒドロキシル末端へのデオキシヌクレオ

チド付加を触媒する鋳型非依存性 DNA ポリメラーゼをコードする。生体内では、コードされているタンパク質は、分化初期段階にある正常および悪性のプレ B リンパ球およびプレ T リンパ球の限られた集団において発現し、再構成された免疫グロブリン重鎖と T 細胞受容体遺伝子セグメントの接合部において非生殖系列エレメント (N 領域) を合成することで、抗原受容体の多様性を生み出す。この遺伝子の異なるアイソフォームをコードする、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



TdT ウサギモノクローナル抗体を 1:2000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。